

## 令和6年度第4回宇城市総合計画審議会

日時	令和7年2月18日（火）14:00～
場所	宇城市役所本館3階第2会議室
出席委員	井田委員、本間委員、植田委員、柴田委員、今泉委員、高橋委員、池田委員、濱崎委員
欠席委員	百家委員
事務局	元田市長政策部長、小野田企画課長、企画課企画統計係職員

### 【議事要旨】

#### (1) 次期宇城市総合計画案について

井田会長	3ページの交通の部分だが、大動脈は国道なのか。大動脈は高速道路で、動脈は国道だと思う。国道が大動脈というのは若干古いのかなと思うので、事務局で検討してほしい。
委員	人口の構成について、新市長が10万人都市を目指すということを言われている中で、この計画との違いは良いのかということを確認したい。
事務局	客観的な数値でデータとしてはこのようになっているということで新市長にも説明し、これをベースに政策等考えていくこととしています。
井田会長	12ページに「ひと・自然・文化きらめく未来都市」という言葉があるが、これはどこに掲げられているのか。他の自治体でも基本理念があって、将来都市像があったり、そもそも基本理念を書いていないところもある。文章中にこの理念が合併時に掲げられたとかいうのがあった方が良くと思う。
事務局	合併時に設定しており、新市建設計画に掲げ、今後も理念として持ち続けていくものとしている。もう少し理念の部分に説明も追加する。
委員	それに関連して、基本理念で自然・文化ということを言っているが、具体の基本目標の中にあまり書かれていない気がする。例えば世界遺産もあるし、海の方の景観も非常に重要かと思う。また、小川の方では古い街並みなど残っていて、そういう歴史などを大事にすることも必要だと感じている。それがどこに加えれば良いかなということで、活力ある魅力的なまちの中が、多様な人々の流れをつくるまちの中に、地域資源を大切にしましょうということをごどこかに加えていただけたらいい。また、地域資源というのが、観光などにも繋がると思うので、観光はあまり書かれていないが、魅力的なまちの中にあっても良いのかなと思う。
井田会長	自然環境、特に海に面したところは、もう少し海をうまく使えないのかなと思う。基本的に日本の観光は文化。そうなるとその観光と文化が融合した形で、人が集まって観光収入がでて、さらに整備されて人がまた来るというのがある。観光地というのは住んでいる人は日常だが、観光で一番大事なのは非日常。歴史も地元の人からしたら昔からあってなんだという感じかもしれないが、それがうまく活用されれば観光資源という形で地域資源が活かされると思うので、活力ある魅力的なまちや人の流れをつくるのところに加筆することが望ましい。
委員	2ページの図の中で、基本理念という概念が出ているので、市政はじまって20年になるがまだその目標を達せず目指しているところかということかと思う。その辺を工夫して書かれたらいいのでは。
井田会長	12ページの本文の中で基本理念を継承して、そのもとで今回の将来都市像に繋がるという風にしたらいいと思う。
井田会長	総合計画については大きな方向性だけ示すということで、細かい個別施策については下の方で順次展開していくということなので、時代の状況に応じた色々な課題について対応できるようざっくりとしたもの。それについてはほぼ入っているのかなという気がするが、個人的にはもう少しデジタル化と結び付けた表現があった方がよい。今も入っているが。
委員	前回イメージということで将来都市像の記載があったが、今回の将来都市像に至る経緯などを教えていただきたい。
事務局	将来都市像はできれば色々なところで行政だけでなく市民や皆さんの頭に残るようなものが良いと思ったため、語感のよさも考えて今回の案とした。
会長	「宇城市」の知名度を高めるために、いろんな分野での比較優位なところを発信していったらいい。

(2) 令和7年度以降の宇城市総合計画審議会体制について

委員	統合ということではなく、新たな審議会ということであれば、委員構成や人数は今後ということか。
事務局	条例の3月議会での議決後に構成団体や人数は検討する。
委員	前回の審議会での意見等を踏まえて考えられていると思うので、良いかと思う。
井田会長	新しい審議会の所掌事務の中に、総合計画（土地利用構想含む）とあるが、都市計画マスタープランとの関係はどのようになるか。
事務局	あくまでも大きな構想の部分のみで、都市計画の審議は別で行われる。
委員	都市計画マスタープランの上位計画に当たると思うので、ここでいう土地利用構想というのは都市マスを決める上位計画なので、慎重にやらないといけない。現行走っているものが結構新しくできているので、それをうまく調整しないとイケない。十分に都市計画の方と協議したうえで案を作っていくとイケないと思う。
井田会長	総合計画の方で縛りをかけてしまうと、都市マスの方でそれを越えることはできなくなってしまう。通常の自治体も総合計画があって、その下に総合戦略と都市マスがあって、個別計画があるという位置付けだと思う。上下関係が逆になってはイケないので、きちんと都市マスとの住み分けを検討してほしい。
委員	熊本市の総合計画で土地利用に関することは、土地利用を検討する専門委員会を作って、別途検討して、かつ、都市計画審議会の方から答申という形で出して、それを市長が受けて総合計画を策定するというようにやっている。 土地利用はシビアな問題なので、あまりふわっとした構想という形で総合計画で決めてしまうと、あとで都市計画の方が苦しくなってしまう。慎重に作られた方が良くと思う。
井田会長	総合計画における土地利用に関する記載は重要になる。都市計画マスタープランと整合性がないとイケないし、総合計画が上位計画なので、その辺の関係もある。十分に担当課と調整した方が望ましい。